

震災から2年を振り返って

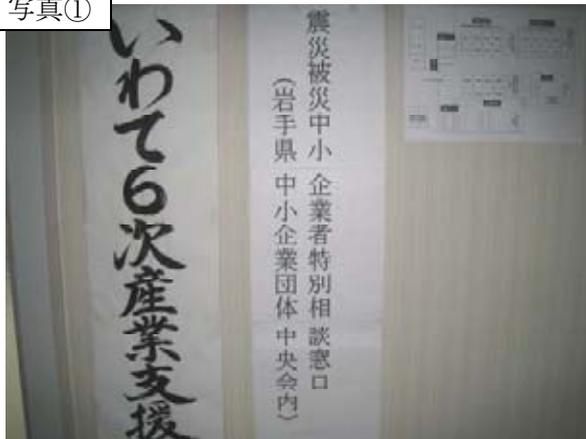
本会では東日本大震災発生後、直ちに「震災被災中小企業者特別相談窓口」を開設し、県内中小企業組合及びその構成員の被災状況の把握に努めるとともに、被災現地への救援物資の提供、会員組合への義援金配布、震災対応移動中央会等での被災事業者向け支援施策の普及、国・県・政党等への要望活動等を実施し、いち早い被災地復興に向けた各種支援を展開してきた。

本稿では、東日本大震災より2年を経過した今、これまで本会の歩んできた震災対応の経過を振り返ることとする。

平成23年

- ・ 3/14 (月) 臨時調整会議を開催、震災被災中小企業者特別相談窓口を開設 (写真①)。
 県内組合の被災状況把握のため、電話・ファクス等で情報収集開始。
 東北経済産業局が被災状況の定期的な報告を本会に要請（翌日から1日2回報告体制に）。同様の報告を県経営支援課、全国中央会にも行う。
- ・ 3/15 (火) 県商工企画室の依頼により、災害救援物資の提供可能な組合（企業）を募集開始。
- ・ 3/19 (土) 休日・祭日についても相談窓口を開設。（～6月末まで継続実施）。
- ・ 3/22 (火) 中小企業庁中石財務課長他1名来会。被災状況（本会把握分）について説明・懇談。
- ・ 3/23 (水) 被災地復興支援のため、本会会員を通じた「義援金」の募集を開始。
- ・ 3/24 (木) 被災地現地調査を開始 (写真②)。
- ・ 3/25 (金) 被災地現地調査（宮古・岩泉地区）
- ・ 3/30 (水) 被災地現地調査（久慈・野田地区）
- ・ 3/31 (木) 被災企業金融支援緊急対策会議（盛岡財務事務所主催、鈴木前会長出席）。
- ・ 4/ 5 (火) 商工6団体による東日本大震災からの復興に向けた共同決意を表明 (写真③)（県庁記者クラブでの共同記者会見を実施したほか、決意表明文を国会議員、県議会議員、市町村長に対して送付）。
- ・ 4/13 (水) 震災対応移動中央会開催（釜石・宮古・大船渡地区）。被災組合からの各種相談（経営、金融、雇用等）に対応。

写真①



写真②



写真③



- ・ 4/20 (水) 岡山県中央会から救援物資が到着。翌日から被災地に向け搬送を開始 (写真④⑤)。
同日、震災対応移動中央会開催 (釜石・宮古・大船渡地区)。
- ・ 4/26 (火) 震災対応移動中央会開催 (釜石・宮古・大船渡地区・写真⑥)。
- ・ 4/28 (木) 中小企業向け支援施策説明会出席 (経産局、中小機構主催、藤村局長他2名出席)。
同日、東北経済産業局長、中小機構東北支部副部長来会。被災状況 (本会把握分) 説明、支援施策等の充実等を提言。
- ・ 5/10 (火) 東日本大震災に係る中小企業・雇用者等支援会議に出席 (県沿岸広域振興局主催)。
- ・ 5/16 (月) 第4回中小企業対策連絡本部会合出席。
同日、震災対応移動中央会開催 (釜石・大槌地区)。
- ・ 5/18 (水) 震災対応移動中央会開催 (大船渡・陸前高田地区)。
- ・ 5/23 (月) 全国中央会来会、宮古・田老地区視察。
翌日、被災状況について本会で懇談。
- ・ 5/30 (月) 全国青年中央会来会、被災状況について懇談。田老仮設店舗組合設立支援開始。
- ・ 6/ 3 (金) 震災対応移動中央会開催 (釜石・大槌地区)。
同日、全国中央会正副会長会議及び国主催の被災中小企業対策本部会合に鈴木前会長出席。
- ・ 6/ 7 (火) 震災対応移動中央会開催 (大船渡・陸前高田地区)。
- ・ 6/ 9 (木) 震災対応移動中央会開催 (宮古・山田地区)。
- ・ 6/16 (木) 震災対応移動中央会開催 (宮古・山田地区)。
- ・ 6/17 (金) 三役会にて被災 113 組合に対し、義援金 41,750 千円の配布を決定。
同日、震災対応移動中央会開催 (釜石・大槌地区)。
- ・ 6/21 (火) 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の募集開始にあたり、グループ計画書作成支援等を実施 (写真⑦)。

写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



- ・ 6/28 (火) 義援金配布を開始 (写真⑧)。
同日、震災対応移動中央会開催 (大船渡・陸前高田地区)。
- ・ 6/29 (水) 釜石地区・花巻北上地区組合義援金配布。
- ・ 7/ 1 (金) 大船渡地区・盛岡地区・宮古山田地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/ 4 (月) 遠野地区・盛岡地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/ 5 (火) 大船渡地区・盛岡地区・奥州地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/ 6 (水) 一関地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/ 7 (木) 大船渡地区・釜石地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/ 8 (金) 陸前高田地区・釜石地区組合義援金配布。
- ・ 7/11 (月) 津川政府震災復興対策本部岩手現地対策本部長来会、懇談。
同日、釜石地区・大船渡地区・宮古地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/13 (水) 宮古地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/20 (水) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 7/26 (火) 住田・大船渡地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/29 (金) 一関地区組合へ義援金配布。
- ・ 7/30 (土) 仮設店舗運営を目的にたろちゃん協同組合 (写真⑨) 創立総会。
- ・ 8/ 5 (金) 本会理事会席上で、東日本大震災復興推進に係る要望書を提出 (写真⑩) (津川政府震災復興対策本部岩手現地対策本部長)。
- ・ 8/ 9 (火) 東日本大震災復興推進に係る要望書を県選出国會議員、県議會議員、市町村長、全国中央会他に提出。
- ・ 8/10 (水) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 8/22 (月) 事業協同組合等共同施設災害復旧事業費補助金の交付申請にあたり作成支援を開始。大船渡五陽食品協業組合 (写真⑪) ほか5組合が補助対象となり施設再建。
同日、被災3県 (岩手・宮城・福島) 中央会情報交換会に出席。
- ・ 8/23 (火) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 8/25 (木) 震災対応移動中央会開催 (陸前高田地区)。
- ・ 8/26 (金) 林農海支援事業まほろば企業組合創立総会。

写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



- ・ 9/26 (月) けせん水産業復興協同組合創立総会。
- ・ 10/ 1 (土) 福岡県中央会の支援事業「がんばろう中小企業プロジェクト」スタート
- ・ 10/ 4 (火) 商工4団体特別決議及び県大会決議の政党への要望を実施。
- ・ 10/21 (火) 大船渡屋台村有限責任事業組合設立総会。
- ・ 10/25 (火) 中小企業団体岩手県大会決議について岩手県知事へ要望書を提出 (写真⑫)。
- ・ 10/28 (金) おおふなと夢商店街協同組合 (写真⑬) 創立総会。
- ・ 11/ 1 (火) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 11/ 2 (水) 震災対応移動中央会開催 (久慈地区)。
- ・ 11/ 8 (火) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 11/ 9 (水) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 11/18 (金) 釜石地域採石協同組合創立総会

平成24年

- ・ 1/12 (木) 釜石・宮古地区グループ補助金説明会開催。以後中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業計画作成支援業務を随時展開。
- ・ 2/ 9 (木) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 2/10 (金) 震災対応移動中央会開催 (久慈地区)。
- ・ 2/13 (月) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 2/14 (火) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 3/ 9 (金) 津川復興庁政務官来会、懇談 (写真⑭)。
- ・ 3/14 (水) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 3/15 (木) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 3/16 (金) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 3/23 (金) ど真ん中・おおつち協同組合創立総会。
- ・ 3/24 (土) 平野前復興大臣が来県、商工団体と懇談 (写真⑮)。
- ・ 4/23 (月) 震災対応移動中央会開催 (久慈地区)。
- ・ 4/24 (火) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 4/26 (木) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 5/ 8 (火) 谷村会長、沿岸市町村・組合を訪問し復旧状況の確認、懇談 (写真⑯)。
- ・ 5/11 (金) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 6/ 7 (木) 宮古区域生コンクリート卸商協同組合創立総会。
- ・ 6/26 (火) 震災対応移動中央会開催 (宮古・久慈地区)。

写真⑫



写真⑬



写真⑭



写真⑮

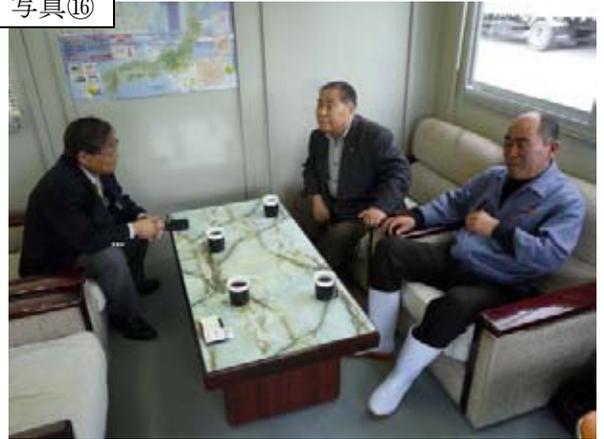


- ・ 8/28 (火) 新生やまだ商店街協同組合創立総会。
- ・ 8/29 (水) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 8/30 (木) 震災対応移動中央会開催 (釜石・写真⑰)。
- ・ 9/ 4 (火) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 9/ 5 (水) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 9/ 6 (木) 震災対応移動中央会開催 (陸前高田地区)。
- ・ 9/10 (火) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 9/11 (水) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 10/ 5 (金) 民主党県連へ商工4団体決議、県大会決議事項の要望書を提出。
- ・ 10/12 (金) 自民党県連へ商工4団体決議、県大会決議事項の要望書を提出 (写真⑱)。
- ・ 10/31 (水) 黄川田復興副大臣来会、懇談。
- ・ 11/ 5 (月) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 11/ 8 (木) 商工4団体「特別決議」要望書を県に提出。
- ・ 11/ 9 (金) 震災対応移動中央会開催 (一関地区)。
- ・ 11/12 (月) 震災対応移動中央会開催 (盛岡・岩泉地区)。
- ・ 11/21 (火) 創業セミナーを開催 (陸前高田地区)。
- ・ 11/22 (水) 創業セミナーを開催 (大船渡地区)。
- ・ 11/30 (木) 宮古湾水産物荷捌施設協同組合創立総会。
- ・ 12/ 6 (木) 創業セミナーを開催 (宮古・釜石地区)。
- ・ 12/18 (火) 大槌ポイントカード協同組合にポイントカード端末機と目録を贈呈 (写真⑲)。
- ・ 12/21 (金) 中小企業庁・東北経済産業局来会、グループ補助金申請支援に関する情報交換。

平成25年

- ・ 1/21 (月) 長島復興政務官が来会、要望書を提出。
- ・ 1/29 (火) 気仙造船関連工業協同組合創立総会。
- ・ 1/30 (水) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。
- ・ 1/31 (木) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 2/ 1 (金) 震災対応移動中央会開催 (釜石地区)。
- ・ 2/ 4 (月) 震災対応移動中央会開催 (大船渡地区)。
- ・ 2/ 5 (火) 震災対応移動中央会開催 (陸前高田地区)。
- ・ 2/ 6 (水) 震災対応移動中央会開催 (宮古地区)。

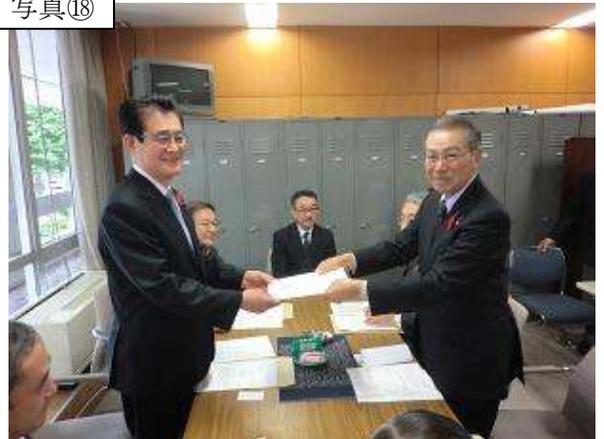
写真⑰



写真⑱



写真⑲



写真⑳



震災からこれまでの組合設立状況

震災からの再起、あるいは復興活動のサポートなどを相互扶助の精神で実現しようと、多くの組合が設立された。以下では、震災後に新設された復興型組合の概要をご紹介します。

< 事業協同組合 9組合、企業組合 1組合、有限責任事業組合 1組合 >

たろちゃん協同組合（宮古市）

| | | | |
|---|------------------|------|----|
| 理事長 | 箱石 英夫 | 組合員数 | 25 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 8 月 19 日 | | |
| <p>宮古市田老地区の被災した商業者たちが、地元での再起を図るため組織化。仮設住宅団地「グリーンピア三陸みやこ」の敷地内で、プレハブ3棟からなる共同店舗「たろちゃんハウス」を運営する。</p> <p>震災からの復興を目指した組合では、被災3県で第1号の設立。</p> | | | |



林農海支援事業まほろば企業組合（陸前高田市）

| | | | |
|---|------------------|------|----|
| 理事長 | 上野 孝雄 | 組合員数 | 12 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 10 月 6 日 | | |
| <p>震災被害が深刻であった陸前高田市に雇用の場を確保しようと、退職後に農林漁業を志す者、都会の喧騒を抜けスローライフを求める者等が集い企業組合を設立。</p> <p>冬採キャベツやヤーコンの栽培、海藻類の採取・販売等を行い、いずれは気仙地区を再び「まほろば（理想郷）」とすることを目標とする。</p> | | | |



けせん水産業復興協同組合（大船渡市）

| | | | |
|------------|-------------------|------|---|
| 理事長 | 及川 廣章 | 組合員数 | 4 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 10 月 14 日 | | |

被災した大船渡・陸前高田地区の水産加工業者が三陸気仙地域の水産業の復興のため組織化。主な事業は、津波で失った加工施設や製氷機械等の集約化による共同利用。

おおふなと夢商店街協同組合（大船渡市）

| | | | |
|--|-------------------|------|----|
| 理事長 | 伊東 修 | 組合員数 | 26 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 11 月 24 日 | | |
| <p>JR 大船渡駅近くに設置された仮設店舗「おおふなと夢商店街」を運営する組合。延べ床面積 1,800 m² を超える敷地内に、鮮魚店、青果店、衣料品店などが入店する平屋建て 4 棟と 2 階建て 2 棟の商業集積となっている。</p> <p>町の賑わいを取り戻そうと、朝市や結婚式など様々なイベントを実施。</p> | | | |



釜石地域採石協同組合（釜石市）

| | | | |
|------------|-------------------|------|---|
| 理事長 | 大山 裕昭 | 組合員数 | 4 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 12 月 14 日 | | |

個々の対応能力の限界を補い合い、復旧・復興に不可欠な原材料の安定供給を図るため組織化。

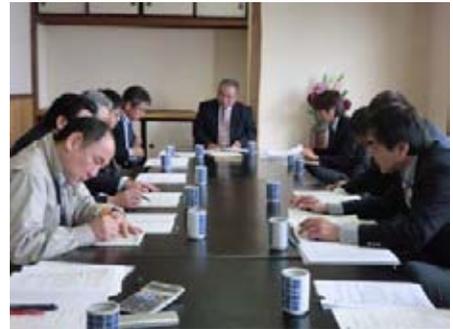
大船渡屋台村有限責任事業組合（大船渡市）

| | | | |
|---|-------------------|------|---|
| 理事長 | 及川 雄右 | 組合員数 | 6 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 23 年 10 月 21 日 | | |
| <p>震災被害からの再起を目指す 20 の飲食店が集積する「大船渡屋台村」を運営する LLP。平成 23 年 12 月 20 日にランドオープン。</p> <p>お店のラインナップは、やきとり、おでん、寿司、ラーメンなどバラエティに富んでおり、地元の新たな憩いの場となっている。</p> | | | |



ど真ん中・おおつち協同組合（大槌町）

| | | | |
|---|------------------|------|---|
| 理事長 | 芳賀 政和 | 組合員数 | 4 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 24 年 3 月 29 日 | | |
| <p>被災した大槌町の水産加工業者等が、グループ補助金を活用し水産業の早期復興に向け組合を設立。</p> <p>地元の大槌町で採れる海産物の全国展開やブランド化を目標とする。現在は組合員の復興状況に合わせて、開発された新商品を組合のホームページ等で販売している。</p> | | | |



宮古区域生コンクリート卸商協同組合（宮古市）

| | | | |
|------------|-----------------|------|---|
| 理事長 | 金子 秀一 | 組合員数 | 4 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 24 年 7 月 4 日 | | |

復興工事等で大量に必要とされる生コンクリートの安定供給に向け組織化。

新生やまだ商店街協同組合（山田町）

| | | | |
|--|-------------------|------|----|
| 理事長 | 昆 尚人 | 組合員数 | 17 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 24 年 10 月 10 日 | | |
| <p>被災した商業者等が新たな経営基盤を地元で再建することを目的に組織化した組合。</p> <p>組合員自らの被災経験を基に「震災語り部ガイド事業」などを実施し、地域の商業復興のため活動している。</p> | | | |



宮古湾水産物荷捌施設協同組合（宮古市）

| | | | |
|------------|-------------------|------|---|
| 理事長 | 島香 剛 | 組合員数 | 7 |
| 設立年月日（登記日） | 平成 24 年 12 月 21 日 | | |

全壊した旧宮古魚市場の荷捌き施設を再建するため、市内の水産物卸売、鮮魚小売事業者が組織化。

気仙造船関連工業協同組合（大船渡市）

| | | | |
|------------|-----------------|------|---|
| 理事長 | 中野 利弘 | 組合員数 | 4 |
| 設立年月日（認可日） | 平成 25 年 3 月 5 日 | | |

気仙地域の重要産業である漁業・海運業の復興を支えるため、船舶の安定供給や修繕を行う事業者が組織化。船舶建造・修繕に必要な FRP やアルミ鋼材などの共同購買を中心に事業を行う。



グループ補助金に係る支援状況の報告

本会では、東日本大震災により被災した中小企業者がグループを形成し、施設・設備の復旧整備を行うため「中小企業等復旧・復興支援補助事業（いわゆる「グループ補助金」）」を活用する際、これら中小企業等グループの復興事業計画策定や事業計画書作成等について、昨年度の第1次公募の開始に合わせいち早く支援を展開してきた。

本稿執筆時（平成25年2月下旬）、第5次公募・前期（公募期間：平成24年11月9日～30日）までの認定状況が公表されており、その内訳は下表（「これまでの申請申込・本会支援による認定状況の一覧」）のとおりとなっている。

本県では、第1次から第5次・前期公募までの間、応募申請総数は187グループに及び、結果63グループが認定されている。認定63グループのうち本会支援先は20グループ（全体の31.7%）となっている。また、認定構成企業数にして、882社のうち434社（49.2%）、補助金決定額にして、645億円のうち216億円（5次前期分は金額未算入）に達する支援実績となっている。

本稿では、これまでのグループ補助金の認定状況及び認定グループの概要を記すとともに、補助金認定に向けた本会支援グループの取り組みや支援の内容、また復興事業計画の着実な実施を後押しする認定グループに対して行う支援等について紹介する。



補助金活用し再建を果たした大槌水産加工事業(協)の施設



毎回出席者は多数。関心の高さが窺えた補助金説明会。

●これまでの申請申込・本会支援による認定状況の一覧

| 年度 | 公募 | 申請G数 | 構成企業数 | 申請額(億円) | 認定G数 | うち本会支援によるもの | 構成企業数 | うち本会支援によるもの | 決定額(億円) | うち本会支援によるもの |
|------|------|------|-------|---------|------|-------------|-------|-------------|---------|-------------|
| 23年度 | 1次 | 51 | 339 | 545 | 8 | 1 | 116 | 11 | 77 | 38 |
| | 2次 | 35 | 263 | 334 | 3 | 0 | 28 | 0 | 49 | 0 |
| | 3次 | 46 | 387 | 362 | 19 | 5 | 151 | 46 | 310 | 75 |
| 24年度 | 4次 | 43 | 929 | 255 | 21 | 11 | 456 | 335 | 140 | 103 |
| | 5次前期 | 12 | 180 | 75 | 12 | 3 | 131 | 42 | 69 | |
| 計 | | 187 | 2,098 | 1,571 | 63 | 20 | 882 | 434 | 645 | 216 |

● 本会支援による認定20グループの一覧

| No. | 公募 | グループ名 | 市町村 | 構成員数 | 事業費 (億円) | 補助金額 (億円) |
|-----|-------|---|-------------------|------------|--------------|--------------|
| 1 | 1次公募 | 大船渡湾冷グループ | 大船渡市 | 11 | 61.0 | 38.0 |
| 2 | 3次公募 | 陸前高田市水産食品加工グループ | 陸前高田市 | 6 | 32.0 | 24.1 |
| 3 | 3次公募 | 岩手県酒造組合グループ | 県内全域 | 10 | 6.7 | 4.9 |
| 4 | 3次公募 | 三陸復旧・復興後方支援 「釜石ビジネスホテルグループ」 | 釜石市 | 4 | 4.9 | 3.6 |
| 5 | 3次公募 | 岩手県自動車整備振興会 釜石支部グループ | 釜石市・大槌町 | 11 | 10.8 | 8.0 |
| 6 | 3次公募 | ～いわて三陸希望の宿ネットワーク～ 三陸海岸観光復興プロジェクトグループ | 釜石市・宮古市 他 | 15 | 48.7 | 34.7 |
| 7 | 4次公募 | 岩手県産ホタテ・アワビの安定供給グループ | 大船渡市 | 7 | 2.3 | 1.7 |
| 8 | 4次公募 | いわて宮古街なか商人グループ | 宮古市 | 107 | 9.3 | 7.0 |
| 9 | 4次公募 | 釜石東部地区商店街グループ | 釜石市 | 59 | 21.8 | 15.7 |
| 10 | 4次公募 | おおふなと夢グループ | 大船渡市 | 48 | 30.1 | 22.0 |
| 11 | 4次公募 | 鵜住居を新生する会 | 釜石市 | 34 | 9.2 | 6.9 |
| 12 | 4次公募 | 「恋しヶセン」観光産業復旧・復興プロジェクト グループ | 大船渡市 | 25 | 31.0 | 22.9 |
| 13 | 4次公募 | 宮古・釜石・気仙地区食品製造・物流復興 ネット | 宮古市・釜石 市・陸前高田市 | 11 | 10.5 | 7.9 |
| 14 | 4次公募 | 岩手県自動車整備振興会 大船渡支部 | 大船渡市 | 29 | 16.3 | 12.2 |
| 15 | 4次公募 | 気仙地区住宅復興支援・住文化継承グルー プ | 大船渡市 | 4 | 2.6 | 1.9 |
| 16 | 4次公募 | 岩手県印刷工業組合グループ | 大船渡市・陸前 高田市他 | 9 | 4.2 | 3.2 |
| 17 | 4次公募 | 岩泉地域水産物加工業福幸会 | 岩泉町 | 2 | 1.9 | 1.3 |
| 18 | 5次・前期 | 釜石地区〈絆〉サポートグループ | 釜石市他 | 9 | — | — |
| 19 | 5次・前期 | 新生やまだ商店街グループ | 山田町 | 17 | — | — |
| 20 | 5次・前期 | 岩手県石油商業組合大船渡支部・岩手県高 圧ガス保安協会大船渡支部連携グループ | 大船渡市 | 16 | — | — |
| | | 計 | | 434 | 303.3 | 216.0 |

※ 構成員数とは、補助金交付決定企業数である。

補助金額とは、補助金交付決定金額である。

●認定グループ支援事例の紹介

「恋しヶセン」観光産業復旧・復興プロジェクトグループ

グループ目的：100年後の気仙地方を見据え、ふるさと気仙の文化を発信し、ホスピタリティあふれた「風土コンシェルジュ」の構築を目指す。

構成事業者：大船渡市を地区とする宿泊業、飲食業、食品製造販売業、旅客業の33者（協力企業含）で構成。

共同事業内容：復興情報の発信、共同予約システム等の構築と宿泊環境の提供、着地型観光商品や気仙土産の共同開発・販売、地域イベントの実施、風土コンシェルジュ育成・検定、津波体験の紹介等

本会支援内容：グループ結成当初から支援を要請され、専門家を活用した復興事業計画（共同事業計画）の策定に注力。毎度夜間より協議開始、深夜にまで及ぶ活発な協議を続けた結果、目指すべき方向性や理念の共有化が図られ、共同事業参画意識等を十分に醸成できたことが認定に繋がった。現在、着地型観光商品の開発に向けた支援を引き続き展開中。



深夜まで及ぶ活発な協議が続いたグループのメンバー

岩手県石油商業組合大船渡支部・岩手県高圧ガス保安協会大船渡支部連携グループ

グループ目的：社会インフラと言える燃料供給業の復旧促進を図り、当地域の雇用維持・拡大を目指す。

構成事業者：大船渡地区の石油製品・LPガス供給事業者16者で構成。

共同事業内容：共同輸送体制の構築、デジタル簡易無線導入、BCP策定、トヨタ生産システム等効率化手法の研究、再生可能エネルギーの研究等

本会支援内容：本会開催の移動中央会にて支援要請を受け、復興事業計画の策定等を支援。共同事業イメージの整理、構成員の共同意識の醸成、事業計画書の作成支援等、夜半にまで及ぶ支援を敢行。事業推進委員会の正副委員長が中心となり、復興事業計画取りまとめを強力に推進したことも奏功。今後、BCP策定に向けた勉強会開催に当たり、本会事業活用を予定している。



ガソリンスタンドも甚大な被害を受け機能停止

岩手県印刷工業組合グループ

グループ目的：復興の進捗に呼応した多種多様な印刷物の発注に即応するとともに、沿岸部と内陸の事業者が互いに仕事を融通することで地域経済活性化を目指す。

構成事業者：県内の印刷事業者である組合員45者（協力企業含）で構成。

共同事業内容：印刷物のグループ内共同受注事業、印刷技術及び環境問題対策等の研修、リサイクル等の推進。

本会支援内容：沿岸の9事業者が補助金申請するに当たり、工業組合の組合員全員が構成員となり復興計画策定に当たった。専門家を活用した計画策定協議を数次重ねる都度その熟度が向上したこと、即実行可能な共同事業計画の策定に注力したこと等で無事認定を果たした。計画にある環境対策研修会は本会事業を活用し既に実施済み。



グループ計画をコンパクトに纏める努力も奏功

共同施設災害復旧補助金への支援状況

「共同施設災害復旧補助金」は、震災で被災した中小企業組合の共同施設の復旧費用を国・県が4分の3補助する制度で、本県では、大船渡トラック事業(協)、大船渡五陽食品(協業)、(協業)大船渡車検センター、大船渡水産物商業(協)、大船渡国際港湾ターミナル(協)、(協)江釣子ショッピングセンターの6組合が採択され、約4億円の補助金が交付決定された。

本会では、被災直後の混迷期から組合と一体になって申請作業を支援。以下では、災害復旧を果たした共同施設の様子をフォトグラフで紹介する。

協業組合大船渡車検センター（大船渡市）

大船渡市内で車検整備工場を運営する協業組合。

震災により、工場1階の天井部分まで浸水。車検整備施設の大部分を流失した。平成24年4月完全復旧。



被災直後の車検工場



復旧後の様子



津波が引いた後の工場内



復旧した車検整備施設

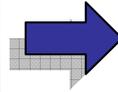
大船渡五陽食品協業組合（大船渡市）

大船渡市内で豆腐、油揚げ類の製造販売を行う協業組合。

震災により、工場や製造設備が全壊・流失となった。平成 24 年 10 月から業務を再開。



津波で破壊された製造設備



建設途中の新工場

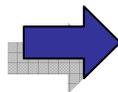
協同組合江釣子ショッピングセンター（北上市）

内陸部のため津波被害は無いが、2度の大きな揺れで建物などに大きな被害を受けた。

衣類・靴などの救援物資、義援金など積極的に被災地支援を行う一方、平成 23 年 11 月にリニューアルオープン。



エスカレータの天井部分が崩落



完全な修復がなされた現在の様子

大船渡国際港湾ターミナル協同組合（大船渡市）

全国的にも珍しい民間主導型の港湾コンテナターミナルを運営する事業協同組合。

ターミナルの根幹をなすハーバークレーンも津波により大きな被害を受けたが、同補助金制度等により復旧した。

右の写真は、復旧したクレーンの調整作業の様子。



組合代表者会議を開催

2月8日（金）、盛岡市のホテル東日本において、中小企業を取り巻く経済の動向を把握し、業界の発展と地域振興に資することを目的に、「平成24年度組合代表者会議」を開催し、組合代表者をはじめ組合関係者など65名が出席した。

会議は3部構成。第1部は、各業界・組合がおかれている現状や課題について共通認識を深める場である「業種別会議」。同会議は、建設・製造業（参加者19名）、商業（同15名）、流通・サービス業（同11名）の3グループに分かれ、組合及び構成員企業の抱える金融・雇用等の経営上の諸課題や国・県・中央会等に対する意見・要望をいただいた。

特にも、震災復興需要に伴う資材高騰・技術者不足の現状や、資金繰り支援策の拡充及びグループ補助金等の継続と要件緩和等、中小企業が直面する諸課題に関して数多くの意見が出された。



業種別会議（建設・製造業）



業種別会議（商業）



業種別会議（流通・サービス業）

第2部は、野村證券(株)盛岡支店長の東 英憲氏が「世界景気 欧州・日本の財政と為替の行方」をテーマに講演。欧州の債務問題や米国・中国経済の見通し、日本経済：新政権（アベノミクス）の経済運営への期待と不安、日本の財政状態と為替動向のポイント等について、大変わかりやすい解説を賜った。

また、続く第3部では、財務省盛岡財務事務所理財課長の八重樫敦氏が、「中小企業金融円滑化法の期限終了に伴う対応策」をテーマに講演。中小企業金融円滑化法が本年3月終了に伴い、期限到来後の検査・監督の方針や関係機関の各種支援に係る概要等について説明した。講演会には、岩手県商工労働観光部経営支援課総括課長 松川章氏、商工中金盛岡支店次長 佐藤 裕喜氏のご出席をいただいた。



谷村会長の挨拶



講演する東氏



講演する八重樫氏

会議終了後は、今年の中企業組合及び組合員企業の発展を祈念し、岩手県商工労働観光部の橋本良隆部長の出席のもと、新春交賀会を兼ねた交流会を開催した。



齊藤副会長の挨拶



橋本商工労働観光部長による挨拶



乾杯！

第1回いわて中小企業就職合同説明会 2014 開催

平成25年2月5日（木）、本会は岩手県民情報交流センター・アイーナにて「第1回いわて中小企業就職説明会2014」を開催した。

参加企業数は35社、参加学生数は346人、昨年を大幅に上回る学生の実績となった。また県内報道機関からも多くの取材があり、TV・新聞等で報道された。

一般的な企業合同就職面接会等は、開催を持って終了となるが、この「いわて中小企業就職説明会（面談会）」は、学生と企業との採用・就職活動のスタートアップを意味し、「いわて中小企業就職センター試験」や「逆求人制度（企業オファー型）」等を通じて、県内中小企業に就職を目指す学生と採用意欲のある中小企業とのマッチングに取り組むこととしている。



企業PR・事業概要説明



たくさんの学生が参加



会場総合受付



会社個別面談会

＜参加学生のご意見・ご感想＞

- ・本日の説明会で希望の職種が見つかった。これからは企業研究をしっかりとしていきたい。
- ・こういう機会があると凄く嬉しいので続けてほしい。
- ・WEBデザインの仕事があったことに興味をもった。
- ・若い人が流出しないようにする良い方法だと思う。
- ・ホテル業や出版業のブースもほしかった。
- ・専門職とサービス業が少なかった。
- ・企業の種類をもっと多くしてほしい。
- ・いろんな企業の話聞いてよかった。今後の参考にしたい。
- ・合同就職説明会に参加しない企業のことをもっとしりたい。
- ・企業をまとめた冊子がよい。
- ・これからは積極的に参加して行きたい。
- ・張って試験を受けて内定をもらいたい。
- ・今回の説明会は希望の事務職の説明が聞いてよかった。

など

岩手県中小企業青年中央会 会報誌アクト

岩手県中小企業青年中央会では、本年度各種事業を展開してきた。この1年の大きなトピックスを中心に活動を報告する。

平成 24 年 6月22日 **岩手県電気工事工業組合青年部**
全国中小企業青年中央会創立 20 周年記念式典において、全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞

平成 24 年 6 月 22 日 (金)、明治記念館(東京)において、全国中小企業団体中央会創立 20 周年記念式典が催され、その席上において岩手県電気工事工業組合青年部が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞。

平成 24 年 7月27日 **第 35 回通常総会および青年部講習会 開催**
全 3 議案可決承認、日本銀行盛岡事務所大山事務所長が「岩手経済の現状と今後の方向性」について講演

平成 24 年 7 月 27 日 (金)、コミュニケーションギャラリーリリオ(盛岡市)において、第 35 回通常総会を開催した。

総会では、2 3 年度決算承認、2 4 年度事業計画及び会費の徴収についての 3 議案について審議がされ、全議案とも満場一致により可決承認された。

青年部講習会では、講師に日本銀行盛岡事務所の大山陽久所長を迎え、「岩手経済の現状と今後の方向性」と題し、日本における岩手県の経済業況の他、東日本大震災からの復興後を見据えた経営の在り方と岩手県とフランスの類似性を例にした独自化、差別化による生き残り戦略等について講演いただいた。



平成 24 年 9月14日 **第 38 回中小企業団体岩手県大会**
2 青年部が、岩手県中小企業団体中央会会長表彰を受賞

平成 24 年 9 月 14 日 (金)、ホテル東日本(盛岡市)において、第 38 回中小企業団体岩手県大会が開催された。

その席上において、遠野すずらん振興協同組合青年部および北上市水道工事業協同組合青年部が岩手県中小企業団体中央会会長表彰優良青年部として受賞。



岩手県中小企業青年中央会 会誌アクト

平成 24 年
11月2日

東北・北海道ブロック交流会 開催
東北6県・北海道の青年中央会から 50 余名が参加

平成 24 年 11 月 2 日(金)、ホテル大観(盛岡市繫)において、東北 6 県・北海道の青年中央会をはじめ、全国中小企業青年中央会役員 3 名を来賓に迎え東北北海道ブロック交流会を開催。

本県青年中央会会員 2 青年部(岩手県電気工事業工業組合青年部、岩手塾～岩手を学ぶ会～)より被災地への社会貢献事例と復興のための取り組みについて発表。若手経営者・後継者による交流を図った。

懇親会では、親中央会の谷村会長にご臨席頂き「中小企業の持続的かつ安定的な経営の実現のためには、若い細胞である皆さんの柔軟な発想力と行動力に寄せられる期待は大きく、また、連携組織の要となる皆さんの一層の活躍を期待する」と激励頂いた。



平成25年
2月16日

若手経営者等連携促進フォーラム 開催
復興支援業務に携わった国の各省庁の若手職員 4 名をゲストに迎え、「今後の岩手、中小企業の在り方について」ディスカッションを行なう

平成 25 年 2 月 16 日(土)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング(盛岡市)において、若手経営者等連携促進フォーラムを開催。

フォーラムでは、青年部活動事例発表及びグループディスカッションを行った。

青年部活動事例発表は、岩手県農業機械商業協同組合青年部会から、平成 23 年 3 月 9 日に設立してからの活動について発表。これまでは会員同士の交流や勉強会が中心の活動だったが、今後はネットを活用した各社の中古機情報の共有や共同での中古機展示会の開催等、新たな青年部活動を計画していることを発表。

グループディスカッションでは参加者 40 名を 4 グループに分け、ゲスト 4 名をコーディネーターに、震災後 2 年間の取り組みや、本県産業復興のためにどうすれば良いかといった意見交換を行なった。

グループ毎の発表では、「災者・被災事業者は復興というよりも、復活したいという気持ちが第一ではないか」、「沿岸部と内陸部で様々な面で大きな差が出てきており、内陸部の事業者もかなり厳しい状況にある」、「地域ごとの特色、強みというものを今だからこそ見つめ直し、地域で育てていくような取り組みの支援があればいい」といった意見が出された。

多くの参加者及びゲストからも、今回は時間が短く感じられ、次回があれば是非参加したいといった感想が寄せられた。



組合自治監査講習会 開催

2月20日(水)、いわて県民情報交流センター アイーナにおいて「平成24年度組合自治監査講習会」を開催した。

当講習会は、中小企業組合の役職員等を対象に、自治監査の重要性を再認識していただくとともに、具体的な監査手続きやその留意点等について習得することを目的に毎年実施しているものである。

講師には、公認会計士・税理士 遠藤明哲氏を迎え、「監査の手法とチェックポイント」と題して、監査の意義と効果、監事の職務と権限、監査の準備と留意事項、会計監査の実施プロセス等、監査の概要について説明がなされた。

引き続き、「会計監査のチェックシート」や「内部牽制組織チェックシート」を用いて、実際の監査の進め方や留意点等について、具体的な事例を交えながらの解説が行われた。

今回の講習会には、現役の組合監事が多数参加しており、大変参考になったとの声が多く寄せられた。



講師の遠藤明哲 公認会計士



熱心に耳を傾ける受講者の様子

～ 会 員 情 報 ～

| | |
|---|--|
| とびあ創立10周年記念式典 開催 | 商店街にWi-Fiを試験導入 |
| 遠野商業開発協同組合 (河野好宣 理事長) | 盛岡市肴町商店街新興組合 (豊岡卓司 部長) |
| <p>2月5日、『ショッピングセンターとびあ』の愛称で親しまれる遠野商業開発(協)の創立10周年記念式典が盛大に挙行された。</p> <p>式には本多 遠野市長をはじめ多数の来賓が参加し、記念すべき節目を祝った。</p> <p>組合は、市役所の一部機能を施設内に提供するなど、地域密着型のショッピングセンターとして存在感を強めており、今後益々の活躍が期待される。</p> | <p>組合では、商店街アーケードの中に無料で利用できるWi-Fi環境の提供を試験的に行っている。</p> <p>Wi-Fiとは、無線LANを通じて高速インターネットサービスを利用できる環境のことで、スマートフォンなどを快適に使うことができる。</p> <p>全国的にはWi-Fi環境を提供する商店街も増えつつあるが、県内では初めての試みとなり、幅広い年代に向けてのアプローチツールとなることが期待される。</p> |

組織化動向 - 新設組合のご紹介 -

| | | | |
|-------|--|---------|------------|
| 組 合 名 | 久慈広域葬祭業協同組合 | 理事長 | 野場 秀輝 |
| 出 資 金 | 2,000,000円 | 創立総会開催日 | 平成25年2月20日 |
| 住 所 | 久慈市十八日町2-9 | | |
| 組合概要 | (1) 組合員が取り扱う葬祭業関連物品の共同販売 (2) 組合員の行う葬祭業関連業務の共同宣伝 (3) 教育情報提供事業 | | |

景況は先行き不透明状況（平成 25 年 1 月）

〈全体の概要〉

1 月は、例年にない寒波の影響で消費者の購買意欲が低下したことにより売上が低迷している。また、建設、土木関係の職人・技能者が依然として不足しており、工事受注量は多いものの工事進行の遅れが出ている。

中小企業の景況は、新政権への期待感が高いが、景気回復ムードが反映されていない。また、円安による輸入材料等の調達コストが上昇し収益が圧迫しているなど、先行き不透明な状況が続いている。

◆ 酒 造 製 造 業

個人消費は依然として動きが弱い。

◆ 漬 物 製 造 業

寒さのため消費者の販売意欲は低く、売上低迷。

◆ め ん 類 製 造 業

店舗の増加が進みオーバーストアの状況下、価格競争が深刻化、売上状況は減少傾向にある。

◆ 木 材 テ ッ プ 製 造 業

安価な輸入紙攻勢による紙市況の下落と紙消費量の減少により価格および稼働率が低下し厳しい状況。

◆ 一 般 製 材 業

為替相場の変化で、現地価格および船賃が高騰、輸入材価格が上昇。国産材も集成材を中心に上昇。

◆ 銑 鉄 鋳 物 製 造 業

復興関連製品が徐々に発注され、上下水道鋳物部品等やトラック・建設機械部品の生産量が増加。

◆ 金 属 製 品 製 造 業

円安・株高に動いているが、受注状況変わらず。

◆ 畳 製 造 業

ゼネコン等への下請で県外業者が来県。復興住宅の地元発注を期待したい。

◆ 野 菜 果 物 卸 売 業

寒波が入荷に影響し、荷動きが悪く苦戦。

◆ 酒 ・ 調 味 料 小 売 業

寒さが厳しく「家飲み」の愛好家が増えている現状、不況感が色濃くいかに固定客を掴むか。

◆ 野 菜 ・ 果 実 小 売 業

価格高騰が続き、消費意欲が薄らいでいる。

◆ 家 庭 用 機 械 器 具 小 売 業

景気回復はまだ見えていないものの底打ち感。省エネ家電、LED照明等が動き出した気配。

◆ 食 肉 小 売 業

新年会の需要が低調。また、県外企業の飲食店の食材調達は地元を利用しない傾向がある。

◆ 商 店 街（盛岡市）

寒波により出足が悪く、消費動向に影響があった。異常ともいえる客足の遠のきであった。

◆ 商 店 街（一関市）

初売りは天候に恵まれず、消費意欲は減退傾向。

◆ 旅 行 業

宿泊客の増加は見られたものの、売上単価が上がらず収益が厳しい状況が続いている。

◆ 板 金 工 事 業

内陸部の工事量が減少。

◆ 塗 装 工 事 業

塗料等材料・人件費も大幅アップ、受注単価はあまり変動がなく、収益増加には結びつかない。工事受注量はあるが職人・技術者不足が続いている。

◆ 土 木 工 事 業

原材料が、遠方からの調達で収益に結びついていない。さらに生コン車の庸車等コストアップが続く。

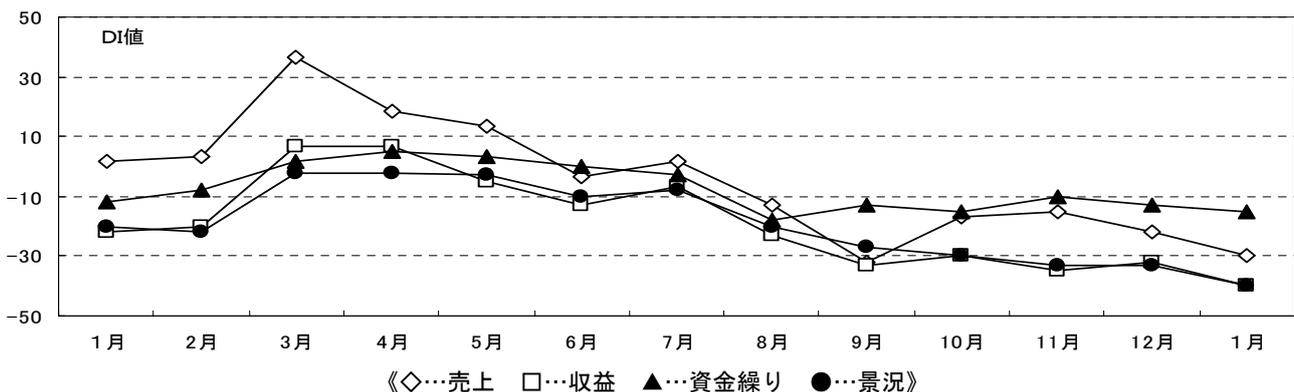
◆ 一 般 乗 用 旅 客 自 動 車 運 送 業

円安の影響から燃料価格が上昇。

◆ 一 般 乗 用 旅 客 自 動 車 運 送 業

為替相場の円安幅が大きく燃料価格が高止まり、依然として利益確保が困難な状況が続いている。

● 売上、収益、資金繰り、景況の各指標前年同月比D I の推移グラフ（H24年1月～H25年1月） ●



※DI値=Diffusion index の略：「良い」と答えた企業から「悪い」と答えた企業の割合を引いた指数。数値が高いほど好景気。

『経営革新セミナー』開催のお知らせ

下記日程にて開催しますので、お知らせいたします。

- 開催日時 平成 25 年 3 月 27 日(水) 13:30～16:30
 - 開催場所 岩手県自治会館
 - テーマ 「時代が求める営業革新！！」
 - 講師 ジャイロ総合コンサルティング
代表取締役 大木 ヒロシ 氏
- お問い合わせ先：統括指導センター (TEL019-624-1363)

第 58 回中央会通常総会の開催について

下記日程での開催を予定しておりますので、お知らせいたします。

- 開催日時 平成 25 年 5 月 15 日 (水) 15:00～
 - 開催場所 ホテル東日本 (盛岡市)
- ※ 詳細につきましては、後日改めてお知らせ致します。
- お問い合わせ先：連携支援部 (TEL019-624-1363)

◆主要日誌◆ (2月1日～ 2月28日)

◎中央会主催事業

- 2/4 第 1 回いわて中小企業合同就職説明会
- 2/5 両盤地区 6 次産業化研修会
- 2/8 組合代表者会議
- 2/16 若手経営者等連携促進フォーラム
- 2/20 組合自治監査講習会
- 2/27 盛岡地区 6 次産業化研修会

◎関係機関・団体主催行事への出席等

- 2/1 東北・北海道ブロック事務局長会議
- 2/4 いわて DC 推進協議会第 8 回運営幹事会
- 2/5 遠野商業開発(協) 10 周年記念祝賀会
- ” 第 2 回岩手産業保健・メンタルヘルス対策総合推進協議会
- 2/6 岩手県 ILC 推進協議会幹事会

- 2/8 小企業者組織化指導事業等研究会
- 2/12 岩手県女性経営者発展支援会議
- 2/13 第 7 1 回国民体育大会
岩手県準備委員会常任委員会
- ” 子育てにやさしい環境づくり推進協議会
- ” いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会総会
- 2/14 経済団体等情報交換会
- 2/18 第 2 回自殺予防に関わる相談窓口連絡会議
- 2/21 岩手地方労働審議会労働災害防止部会
- 2/22 都道府県中央会事務局代表者会議
- 2/26 貸付審査委員会
- ” 雇用勤労行政推進員会議
- ” いわて 6 次産業化推進委員会
- 2/28 福島・宮城・岩手復興一総合就職支援事業報告会